

<21世紀 最初の参議院選挙>

当選者121人中女性は18人→14.9%当選

2001年 8月 5日発行 NO.221 2001参院選 当選者一覧

2001参院選の当選者一覧

選挙区 73人

比例代表

● 女性当選者数と割合の推移 (本日 7/21/01)



女性候補者も'89年に次いで多く、137人も！
もともと立候補して、確実に当選を果たそう。

「6年間で全部やりたい！」
期待が待てる田嶋陽子新議員

- イエ制度を引きずる民法の改正
- 女性の働く意欲を阻害する税制・社会保障制度の改革
- パート・派遣労働者の均等待遇、男女ともに仕事と家族的責任を両立できる制度の実現



1つをやりとげるだけでも大変な仕事である。しかし、このうち1つでも女性に中立なものに変わってくるとどんなにいいことかと思う。女性というだけで低賃金しかくれない社会のからくりを見抜いている彼女だからそれを破る法案を作ってくれるだろう。6年間しっかり応援したい。



それにしても残念無念が残る船橋邦子さん。私達の力足らずで落選させたのが辛い。私達は船橋さんの応援団として「長崎勝手連」をつくり長崎にも講演に来てもらった。評判は上々でみなさん感激して真剣に票をひろげてくれ、落選がわかるとわざわざ電話がかかって共に落胆した。また、今まであまり話したこともなかった人たちが後日「残念でしたね、応援したのに」と話しかけてきたのにも驚いた。お義理で講演を聞いたかもしれない人達が確実に船橋さんの話と人柄を本物だと見抜いたのだ。そして真剣にだれもが、勤め先の大学を辞めてまで立候補した彼女のこれからを案じていた。女性は女性議員の出現を真剣に望んでいることが実感できた今回の「勝手連」体験である。ぜひ次の国政、地方選につなげていきたい。



七月十七日
参議院議員候補
船橋くに子ちゃん 来崎!!

民法改正にむけて手続きを――

〈私たちの意識変革で選択的夫婦別姓の方向へ〉

2001年(平成13年)8月5日(日曜日)

12版

2

夫婦別姓に関する国民の意識

法改正の是非	別姓のための法改正は必要	別姓のための法改正は必要	旧姓の通称使用を認める法改正は必要	旧姓の通称使用を認める法改正は必要
01年5月	23.9	42.1	23.0	5.0
96年6月	39.8	32.5	22.5	5.1

家族の一体感	家族の性が違っても一体感が生まれる	家族の性が違っても一体感が生まれる	家族の性が違っても一体感が生まれる	家族の性が違っても一体感が生まれる
年5月	41.6	0.7	5.7	52.0
月	46.5	0.1	4.7	48.7

※数字は%、四捨五入のため合計は100にならないことがある

法改正賛成、9.6ポイント増

内閣府調査

は42.1%で、96年の前回調査に比べ、9.6ポイント増えた。逆に「夫婦は同姓を名乗るべきで、必要ない」は29.9%で、同9.9ポイント減った。「夫婦は必ず同じ名字を名乗るべきだ」という前提条件付きで「旧姓の通称使用のため法改正は必要ない」と答えた人は23%で、同0.5ポイント増。賛成派を性・年代別にみると、30代女性が52.1%で最も多かった。【中略】



これから男性やその家族は女性から「別姓」をつきつけられてとまどわれないように、別姓のもつ意味を勉強する必要があります。

夫婦が結婚前の姓を妻が姓を名乗るという選択的夫婦別姓制度について、旧姓を名乗ることができないように法改正してもかまわないと考える賛成派が42.1%に達し、反対派の29.9%を初めて上回ったことが4日、内閣府の世論調査で明らかになった。旧姓の通称使用を認めるための法改正は必要と答えた人は52.0%で、これを前回の調査から9.6ポイント増えた。逆に「夫婦は同姓を名乗るべきで、必要ない」と答えた人は29.9%で、同9.9ポイント減った。「夫婦は必ず同じ名字を名乗るべきだ」という前提条件付きで「旧姓の通称使用のため法改正は必要ない」と答えた人は23%で、同0.5ポイント増。賛成派を性・年代別にみると、30代女性が52.1%で最も多かった。【中略】

北京JAC九州・山口・沖縄 第3回シンポジウム INくまもと

日時 2001年10月8日(祝日) 10:30~16:30 (10時開場)
会場 熊本市国際交流会館 熊本市花畑町4番8号 096-359-2020
参加費 1000円

『21世紀“火のくに”からの発進』

主催者 あいさつ
来賓 あいさつ

10:30

第1部 シンポジウム

私たちが考える『男女共同参画推進条例』

〈パネリスト〉山 口 県 (小柴 久子 北京JAC山口事務局長)
福 岡 県 (丹生 秀子 北京JACふくおか世話人)
熊 本 県 (田辺 寿子 アクティブくまもと副代表)
久 留 米 市 (森山 玲子 久留米女性会議事務局長)
北 九 州 市 (岩丸 明江 北九州市に『男女平等推進条例』をつくる会)
コーディネーター 篠崎 正美 (熊本学園大学教授/北京JAC九州・山口・沖縄副代表)

第2部 分科会

(昼食、休憩) 12:15
13:15

- どう活かす『男女共同参画条例』 提言者 山下 泰子
コーディネーター
- 瀬谷知事誕生で熊本は変わった!?
『政策決定と女性参画』 鈴木 桂樹
- 『条例』で、どう変わる家庭と仕事 提言者 三隅 佳子
- 農業女性のエンパワーメントのために コーディネーター
篠崎 正美
- 若者たちがつくるジェンダーフリー 提言者 笹原八代美

第3部 一全体会 一まとめ 三隅佳子(北京JAC九州・山口・沖縄代表) 15:40

16:30 閉会

交流会(16:45~18:00)参加費2000円

主催: 北京JAC九州・山口・沖縄、アクティブくまもと
後援: 熊本県男女共同参画活動交流協議会
問い合わせ・申込み先: TEL 096-366-8412 FAX 096-363-7114
E-mail: active-k@alto.ocn.ne.jp
〒862-0975 熊本市新屋敷1丁目14-29

お申込みは 基

長崎県も条例をつくる動きがあります。条例は私たちの暮らしに大きな関係があります。私たちが望む条例はどんな内容であればよいのか。他県の条例制定までの動きを知り参考にしたいです。

<会場までの足は>

長崎県交通センターより、りんどう号、高速バスがあります。往復 6480円です。一緒に行きませんか?